

新宿区立戸山小学校 学校だより

令和3年11月号

戸山

発行:令和3年11月1日

## あっぱれ！スポーツフェスティバル

校長 百合野 壽郎

秋晴れの空の下、令和3年度【スポーツフェスティバル】が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、2年連続の演技種目を中心とした開催となってしまいましたが、保護者の皆様から盛大なる応援（もちろんマスク着用の下、心の声ですが…）をいただき、子ども達も練習の成果を遺憾なく発揮してくれました。演技に取り組む中で、緊張感・達成感などを体感し、全力で取り組むこと、頑張ることの気持ち良さ、清々しさ、そして何よりも自分自身の成長を実感してくれたと思います。

さて『学校』という文字を辞書で調べてみると、次のように記してあります。「学」という漢字は2本の手・屋根・交わる・子どもを合わせて成り立っています。つまり先生と弟子が交わって知恵のやり取りをする家を表しています。「校」という漢字はXの形に交わった木の枠を意味し、教えることと学ぶことが交わって行われていることを指しています。

要するに学校とは先生と子ども達が交わって、知恵のやり取りをしたり、たくさんの方が、交流したりする場所ということになります。

現代社会では、学校でもGIGAスクール構想等、ICT機器の活用により、学校に行かなくてもオンライン上で結ばれた画面上の先生と、家の自分の部屋で、1対1で学ぶことが可能です。学びの多様化の中で、それは大きな意義のある必要な取り組みです。しかしながら、学校で学ぶ役割は、単に知識の獲得だけではなく、知・徳・体のバランスの取れた人間の育成にあります。例えば、運動会の練習の中で、一つの演技を完成させるために、練習を通して、子ども達は多くの事を学びます。力加減・タイミング・距離感・お互いを思いやる気持ち・みんなで力を合わせて一つの事を完成させる喜びなどは、学校でなければ体験することができないことです。

今回のスポーツフェスティバルを通して、子ども達は知識だけではなく、生きていく上で大切な、多くの事を学んでくれました。その様々な学びを、コロナ後の新しい学校生活に生かし、より一層自らを、そしてお互い

を高め続けてくれることを期待しています。

新型コロナウイルスの感染もまだまだ予断を許しません。今後とも、学校教育への様々なご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。



(練習風景より)

### スポーツフェスティバル

体育主任

10月30日に、延期になっていたスポーツフェスティバルが行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、昨年度同様学年ごとの表現運動の発表になりましたが、どの学年も笑顔あふれるすてきな発表でした。

限られた準備期間の中、休み時間に練習をしたり、友達同士で教え合ったりと、スポーツフェスティバルに向けて積極的に活動している様子が見受けられました。各学年の先生方は、接触を避けながらも、子ども達のよさを引き出せるよう、振り付けや隊形移動を工夫していました。保護者の皆様におかれましても、度重なる予定変更や衣装、小物の準備にご協力いただき、誠にありがとうございました。

まだまだ制限がある中でしたが、スポーツフェスティバルを通して、子ども達の心身の成長を感じることができました。後期は、学習発表会もあり学校行事が再開されます。さまざまな場面で、子ども達の活躍をお伝えしていきます。

### 授業参観日（学校公開）

主幹教諭 千名原 裕佑

10月21日（木）、22日（金）、23日（土）の3日間、およそ1年半ぶりの授業参観日（学校公開）が行われました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、参観に関する制限をさせていただきました。ご不便をおかけしましたが、皆様のご理解・ご協力をいただきまして、無事に終えることができました。学校で、いきいきと過ごす子ども達の様子をご覧いただけたことと思います。ご多用の中、ご来校いただきありがとうございました。

3学期は、2月10日（木）、12日（土）の2日間で実施予定です。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を継続しながら、子ども達が健やかに成長できるよう指導していきます。今後とも、よろしくお願いたします。